

2017年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2018年2月25日(日)	実施ブロック	第1ブロック	参加人数	80名
会場	足立区生涯学習センター				
大会名	第1ブロック審判講習会				
指導員名	村上泰一、小野寺智				

指導会当日の概要

- ・午前中は競技規則改正を含めたルール伝達と3審制審判法の再確認を中心とした2時間の講義。
- ・午後は隣接のグラウンドへ移動して8人制の40分ゲーム3試合を前後半に分けて、6組の審判チームに実際に試合を担当してもらう。
- ・同時にリアルタイムでの観戦講習を行う。

ブロックコメント

- ・東京都少年サッカー連盟審判部より2名(村上泰一様、小野寺智様)の講師をお招きしました。
- ・参加者は第1ブロック登録チームより計80名参加しました。
- ・第1ブロック登録チームの審判員を対象に競技規則の改定について気を付ける点、改定の主旨や留意点をわかりやすく講義により理解を深め、その後実技講習を行い、実技講習後、育成指導員に良かったところ等講評を解説してもらう。
- ・審判を実践した人の中には、出来ているところを評価していただき自信になりましたと好評の声もありました。また、副審のフラッグのシグナルで、より選手、監督スタッフ、観客等に解りやすく、示すための留意点の講義は皆さん参考になりましたと好評でした。
- ・審判講習会でブロック全体の審判レベルを向上していけたらと思います。今後ともよろしくお願い致します。

指導員コメント

- ・80名以上の多くの方が参加してくれ、しかも午前から夕方までの長い時間にもかかわらず最後まで講習会に前向きに参加してくれたのは非常にやりがいを感じました。
- ・特に河川敷での実技研修では低温の中での観戦だったが積極的な質問も多く出て参加者の審判技術向上の意欲を感じた。今後のブロックの審判向上が期待できる1日でした。

指導会写真



2017年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2018年3月18日(日)	実施ブロック	第2ブロック	参加人数	50名
会場	江戸川区臨海球技場				
大会名	第37回 千葉義男杯少年サッカー大会				
指導員名	村上泰一、北上恒保				

指導会当日の概要

- ・東京都少年サッカー連盟審判部より、2名の指導員の方をお招きして、2面x2試合を担当する11名の審判員と共に、打合せ・フィールドチェックから試合後の振り返りまでを、一緒に行動して頂きご指導を受けた。
- ・同時に、39名の観戦研修希望者を2グループに分け、この試合を2B審判部のスタッフと共に観戦し、2B審判部スタッフによる解説及びアドバイスを行なった。

ブロックコメント

- ・2Bは、江戸川区と葛飾区で構成されておりますが、リーグ戦の消化及び、各区の大会実施等の関係で、2区同時での研修会実施が日程的に難しい為、研修会も其々に対して行なう様に調整致しました。
- ・今回は、江戸川区所属のチームを対象に江戸川区の大会を利用し実施致しました。
- ・普段の帯同審判では、時間的な余裕も無く、打合せ等も十分にされていないのが現状です。そこで、本来の審判員がすべき事の、打合せ・フィールドチェックから振り返りまでを経験して頂き、その重要さを知って頂き、今後の審判活動に活かして頂きたいと思い実施致しました。
- ・指導員の村上様、北上様の両名の豊富な経験を基に、的確かつ親切な指導内容を受け、参加審判員も「大変参考になり良かった」との感想を申しておりました。村上様、北上様には、お礼申し上げます。
- ・今後もこの様な研修会を続けて行きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

指導員コメント

- ・選手も審判も体が動きやすい気候で指導員、観戦研修員そしてローカルテレビも入り、いい意味で緊張した審判研修だったと思います。
- ・実技研修に参加してくれた審判はそれぞれいつも以上のパフォーマンスをしてくれたと感じました。
- ・参加してくれた審判員全員が振り返り時まで耳を傾けてくれて意識の高さも感じました。
- ・近い将来、中央大会と一緒に審判をする仲間になるような気がします。

指導会写真



2017年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2018年2月10日(土)	実施ブロック	第3ブロック	参加人数	26名
会場	大泉さくら運動公園多目的運動場				
大会名	第3ブロック審判研修会				
指導員名	丸山和雄、山下英治				

指導会当日の概要

- ・2級1名、3級8名、4級17名、合計26名に対し講習を行いました。
- ・20分1本のトレーニングマッチを8本行うこととし、全体を8つのクルーに分け各々の試合を担当しました(2級と3級1名はサポートに)。
- ・簡単なプラクティクスと主審・副審のポジション取りの講義の後、各クルーの事前打ち合わせについて指導しました。
- ・トレーニングマッチの後、各指導員に4クルーずつ合同で振り返りを行いました。

ブロックコメント

- ・出席者は26人、実技には8組×3人=24人が参加しました。
- ・第三ブロックに審判部は、ありません。
- ・東京都少年サッカー連盟から指導審判員に来ていただき、審判研修会の開催やルール説明会を開催しています。
- ・ブロック内の試合にて、今後の活躍が期待できる審判員の発掘に力を入れているものの、ユース審判員や女性審判員が少ないことが懸案事項です。
- ・経験の浅い審判員を対象にした実技研修や座学研修を開催したいと思いますので、その際はご協力をお願い致します。

指導員コメント

- ・習熟度の低い審判員には、対角線審判方式による、副審と争点を挟む動きを解説し、オートマチックな、位置取りの指導を行いました。
- ・個人差はありますが、概ね理解されていました。
- ・振り返りにおいても、各局面ごとの質問も多く、審判活動に熱心に取り組まれていると感じました。

指導会写真



2017年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2018年1月7日(日)	実施ブロック	第8ブロック	参加人数	9名
会場	中央区立佃島小学校				
大会名	8ブロック審判講習会				
指導員名	塩家利孝、小野寺智				

指導会当日の概要

- ・小学校の教室にて、最初の1時間で、競技規則の改正についての座学を行う。
- ・小学校の校庭にて、副審のフラッグテクニックやポジショニングの基本動作の説明を行う。
- ・15分程度の8人制のゲームを2時間程度行い、そのゲームにて、参加審判員が、実際に主審、副審を担当し、指導員よりアドバイスを受けた。

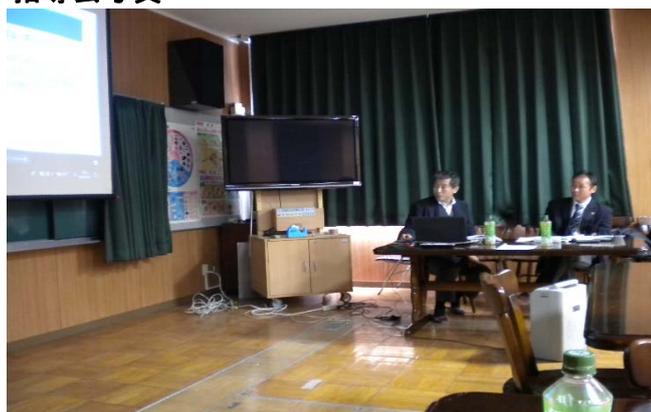
ブロックコメント

- ・講義に関しては、改正点で少し落ち着いたところで、改めておさらいが出来てとても良かったとの意見がありました。ぼちぼち忘れ始めている事項も、改めておもいだすことができました。また、運用を始めてからの陥りやすい点を教えて頂いたことはためになりました。
- ・実際に改正点に該当する事象にあたらぬ審判員が多いのが実情のようです。
- ・実技は人数が少なかったのですが、その分細かい指導を頂いてよかったです。
- ・副審のフラッグテクニックに関しても、個々に細かくご指導頂いたので、深く理解出来たと思います。
- ・次回はもっと人数が集まるように、年間を通じて呼びかけを行っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

指導員コメント

- ・参加審判員は、全員4級で少人数であったが、全員が真剣に、積極的に、研修会に参加されていて、アドバイスに対しても、すぐに適用できる能力があり、開始から終了までの短い時間でも、その上達が明らかに判った。
- ・今後の更なるレベルアップに期待出来る、充実した研修会が行えたと思う。

指導会写真



2017年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2017年6月10日(土)	実施ブロック	第10ブロック	参加人数	61名
会場	府中市少年サッカー場 第一コート				
大会名	10ブロックトレセン練習会				
指導員名	熊澤登志也、丸山和雄				

指導会当日の概要

・冒頭40分ほど副審のフラッグの上げ方などの技術講習会を行い、その後トレセンの紅白戦を使用しての実技講習会を行う。

ブロックコメント

・「6月10日に行われました10ブロックトレセンの練習会において、副審のスキルアップを目的とし、東京都少年連盟審判部育成指導員の方をお迎えし審判研修会を実施いたしました。

・当日は、東京都少年連盟審判部より熊澤登志也様と丸山和雄様を指導員としてお招きし、ご指導いただきました。

・参加者は、ブロック加盟チームの審判員61名が参加いたしました。

・フラッグの基本的なシグナルの確認や副審の立ち姿勢などの基本事項、並びにオフサイドの判定の精度向上を指導して頂き、その後紅白戦での実践指導をしていただきました。

・一人審判が多くなってきており、今回このように副審をメインとして研修会ができたことは、大変有意義なものとなりました。

・今後もこのような機会を設け、一人でも多くの審判員が研修会に参加し、ブロック全体の審判員のレベルアップが図れるようにしてまいります。引き続きご指導よろしくお願い致します。

指導員コメント

・今回は副審の指導のみだった為、合図の確認と実技指導の中でのアドバイスが主な目的となりました。

・61名の参加者全員を対応できませんでしたが、ブロックからのアシスタントの対応で、充実した研修会となりました。

指導会写真



2017年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2017年9月3日(日)	実施ブロック	第12ブロック	参加人数	16名
会場	日野市 北川原グランド				
大会名	第29回JA東京カップ12B予選				
指導員名	古賀研二, 今井大三				

指導会当日の概要

- ・第29回JA東京カップ12B2次予選トーナメントを12ブロックの登録審判員16名により審判団を結成し審判を行ないます。
- ・目標として「4級の重点項目」及び「審判報告書を競技規則に従って正しく記入する」としました。

ブロックコメント

指導員コメント

指導会写真



2017年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2017年12月2日(土)	実施ブロック	第13ブロック	参加人数	84名
会場	清瀬市コミュニティプラザひまわり/清瀬内山G				
大会名	13ブロック審判講習会				
指導員名	宮崎雄二、村上 泰一				

指導会当日の概要

- ・午前中は屋内にて2017-18のルール改正内容を取り入れながらの8人制1人審判法の基本的な方法を90分間講義する。
- ・午後は会場を素晴らしい人工芝グラウンドに移して午前中の講義を検証すべく実際の選手に協力してもらいいろいろなシチュエーションでの主審ポジションを体験してもらった。
- ・その後数名の参加者には皆が見る中、実際の試合を主審してもらった。

ブロックコメント

- ・このような有意義な習を定期的で開催して頂けましたら審判員レベルの向上へとつながっていきます。
- ・今後ともよろしくお願いいたします。

指導員コメント

- ・90分の長い座学も参加者全員が最後まで聞き入ってくれて非常に前向きさを感じた。
- ・若い参加者も多数いたので審判への興味をさらに持ってもらえるようにしていきたい。

指導会写真



2017年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2017年11月26日(日)	実施ブロック	第14ブロック	参加人数	51名
会場	小平市小川西グランド				
大会名	第13回小平市選抜招待大会				
指導員名	岩崎英一、加藤義行				

指導会当日の概要

- ・クレーのピッチに少年用コートを2面取り、同時進行。4審制、40分ゲーム。
- ・午前3試合、午後3試合、合計6試合50名が担当し試合後に講師より講評を頂く形式。
- ・午前は小平市、午後は東村山市、東大和市と分けより多くの審判員に受講してもらいました。
- ・今回は4級取得者を中心に募集も行いました。

ブロックコメント

- ・東京都少年サッカー連盟審判部より2名の講師をお招きして実技研修を行いました。
- ・実技は小平市協会少年部のご協力により、選抜招待大会の12試合で行いました。
- ・加盟チームから参加した4級審判員に、主審・副審・第4審判員を割当して実際に審判を行って頂きました。
- ・ゲーム終了後に講師から参加者に改善点等のアドバイスをいただきました。また、試合を見ながら、控えの参加者にもアドバイスしていただきました。
- ・参加者は50名、実際に審判をしていただいた方は48名でした。
- ・今後も各市内大会・ブロック大会等で、この経験を生かして、より良いジャッジをしていただければと思います。

指導員コメント

- ・本日は大勢の審判員に参加して頂き、大変有意義な育成指導会を行うことが出来ました。
- ・参加された審判員も指導を真剣に聞いていただき、積極的に質問するなど技術向上に対する高い意識が感じられました。
- ・また、ブロック関係者の方にはトレースを取っていただく等のご協力をいただき、我々指導員は指導に専念することが出来ました。

指導会写真



2017年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2018年2月11日(日)	実施ブロック	第14ブロック	参加人数	73名
会場	東村山駅西口サンパルネ				
大会名	ブロック審判講習会(座学)				
指導員名	武山茂				

指導会当日の概要

・今年度の改正点、およびここ2年間の解釈変更等、4種にとっても重要となる内容をまとめて説明。
および、主審、副審、第四の審判の協力関係について概説した。

ブロックコメント

- ・東京都少年サッカー連盟審判部より講師を1名お招きして講習会を行いました。
- ・講義は19時～21時の2時間。プロジェクターを使用しての座学です。
- ・ブロックとしては講義だけの講習会は初めてでしたが、多くの方に参加していただき、良かったと思います。
- ・『副審の役割』、『ここ1～2年のルール改定』についてお話していただきました。
- ・副審の主審へのサポート、フラッグテクニックについてルール改定での主要な変更点について。
- ・参加者は73名。ほとんどの方が審判員資格保持者でした。
- ・昨年のルール改定が4月から適用されます。再開方法等の正しい運用ができるように、改めてルール改定事項の整理ができたと思います。

指導員コメント

- ・参加者は70人を超えていましたが、、皆さん真剣に受講されていて、こちらとしてもできる限りの対応をと思い取り組みました。
- ・2時間という時間があっという間に過ぎていきました。

指導会写真



2017年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2017年12月2日(土)	実施ブロック	第15ブロック	参加人数	26名
会場	昭島市くじら公園内少年サッカー場				
大会名	フレンドリーマッチ(15ブロック加盟チーム4, 5年生)				
指導員名	岩崎浩一、山下英治				

指導会当日の概要

- ・主たる参加者が4級審判員である、26名に対し講習を行いました。
- ・20分1本のトレーニングマッチを8本行うこととし、全体を8つのクルーに分け各々の試合を担当しました。
- ・各クルーの事前打ち合わせで、経験の少ない方に主審を担当させるよう指導し主審が副審をカバーし、クルーで試合をコントロールするようにしました。
- ・習熟度に応じ、ポジション取り、判定基準等のテーマを持ち反省会等を通じ指導しました。

ブロックコメント

- ・12月2日に開催した15ブロック審判部主催の審判講習会では、育成審判員の岩崎(浩)さん、山下さんの2名にお越しいただきました。
- ・当日はブロック加盟チームから、4級審判員を中心に26名が参加しました。
- ・審判員の協力、ポジショニングについての講義と、TMIにおける参加審判員に対するアドバイスなど、分かり易くご指導いただきました。
- ・参加者から、指導の内容が的確で分かり易かった、審判員を続けようという気持ちになったなどの感想が寄せられました。
- ・次の機会も是非、協力をお願いします。

指導員コメント

- ・習熟度の低い審判員には、対角線審判方式による、副審と争点を挟む動きを解説し、オートマチックな、位置取りの指導を行いました。
- ・個人差はありますが、概ね理解されていました。
- ・反省会においても、各局面ごとの質問も多く、審判活動に熱心に取り組まれていると感じました。

指導会写真

